

# イネネクイハムシ

*Donacia provostii* Fairmaire

## コウチュウ目ハムシ科

石川県カテゴリー 情報不足

国カテゴリー なし

### 選定理由

幼虫はイネやハスの根を食害することから、害虫として比較的良好に知られた種である。しかし、近年、各地で減少が著しい。県内でも分布は局所的で、2箇所を確認されているのみである。

### 形態

体長6.0~7.0mm。上翅の金属光沢は弱く、赤、緑、紫、青色を帯びる。上翅末端は幅広い。上翅会合部は末端近くで反転せず、腹部第1節は中央に1対の小突起を装う。触角第3節は第2節より長い。

### 国内分布

北海道、本州、佐渡島、隠岐島、四国、九州、口永良部島、種子島、与那国島。

### 県内分布

加賀市、穴水町。

### 生態

成虫は5~11月に出現し、ハス、ジュンサイ、ヒツジグサ、ヒルムシロ、ヒシなどの浮葉植物を摂食する。夏期に灯火に飛来する。

### 生息地の条件

平野部~丘陵部の浮葉植物の生育する池沼、湿地。

### 生存の危機

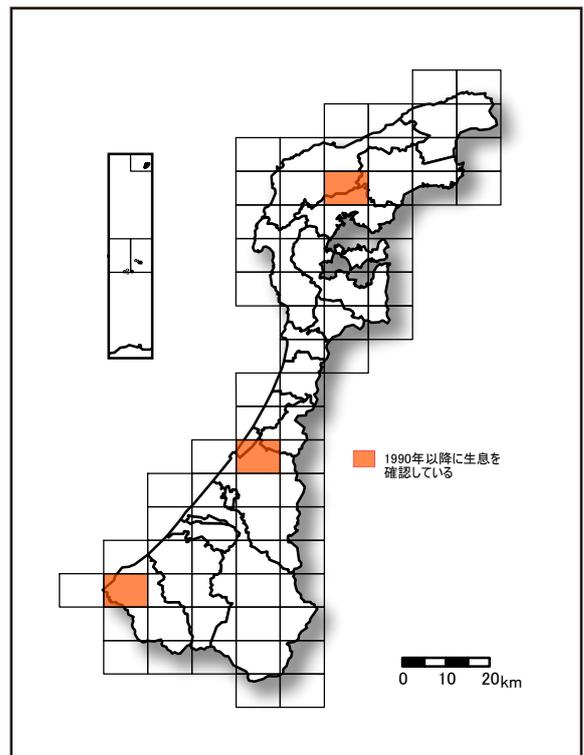
池沼、湿地の様々な開発による消失、各種排水や農薬使用による水質汚染が脅威となっている。

### 参考文献

- 林 成多 2004. 総説・日本のネクイハムシ亜科. ホシザキグリーン財団研究報告, (7) : 29-126.
- 林 成多 2006. 日本産ネクイハムシ亜科の分布記録(2) ネクイハムシ属・キイロネクイハムシ属. ホシザキグリーン財団研究報告, (9) : 151-192.
- 小池賢治 2005. ハスを加害するイネネクイハムシの発生消長と産卵能力. 北陸病害虫研究会報, (54) : 59-63.



標本提供者: 富沢章



県内の分布